

第

2

章

こども・子育てを 取り巻く状況



1. 船橋市の現状

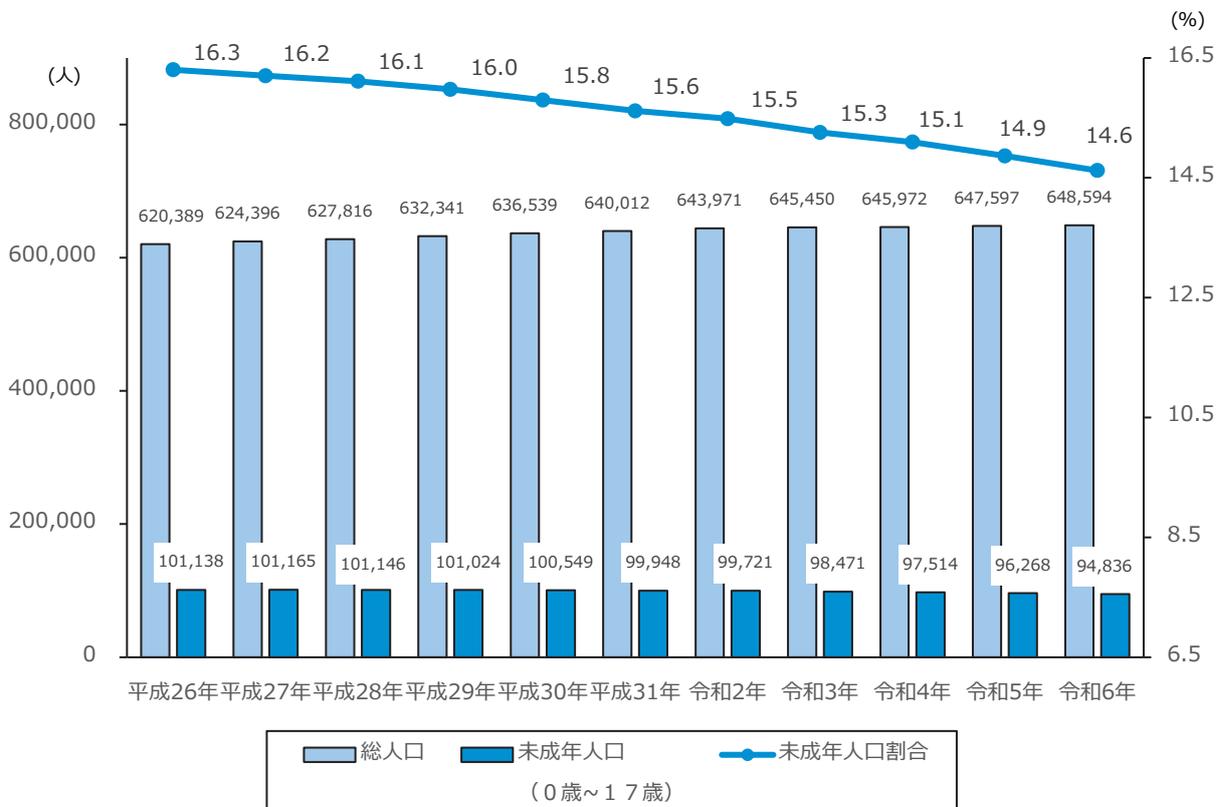
(1) 人口等の状況

① 総人口と未成年人口割合の推移

本市の人口は増加傾向で推移しており、令和6年（2024年）4月1日現在648,594人となっています。

一方、未成年人口（0～17歳）は減少しており、未成年割合は令和6年（2024年）4月1日現在14.6%と平成26年（2014年）から1.7ポイント低下しています。

図表 総人口と未成年人口の推移【船橋市】



資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

1. 船橋市の現状

② こども人口の推移及び今後の見込み

第2期計画期間において、就学前児童（0～5歳）人口及び就学児童（6～11歳）人口は減少傾向にあり、令和6年（2024年）4月1日現在、それぞれ、26,940人、32,662人となっています。また、本計画期間における人口推計については、就学前児童（0～5歳）人口及び就学児童（6～11歳）人口をともに減少と見込んでいます。

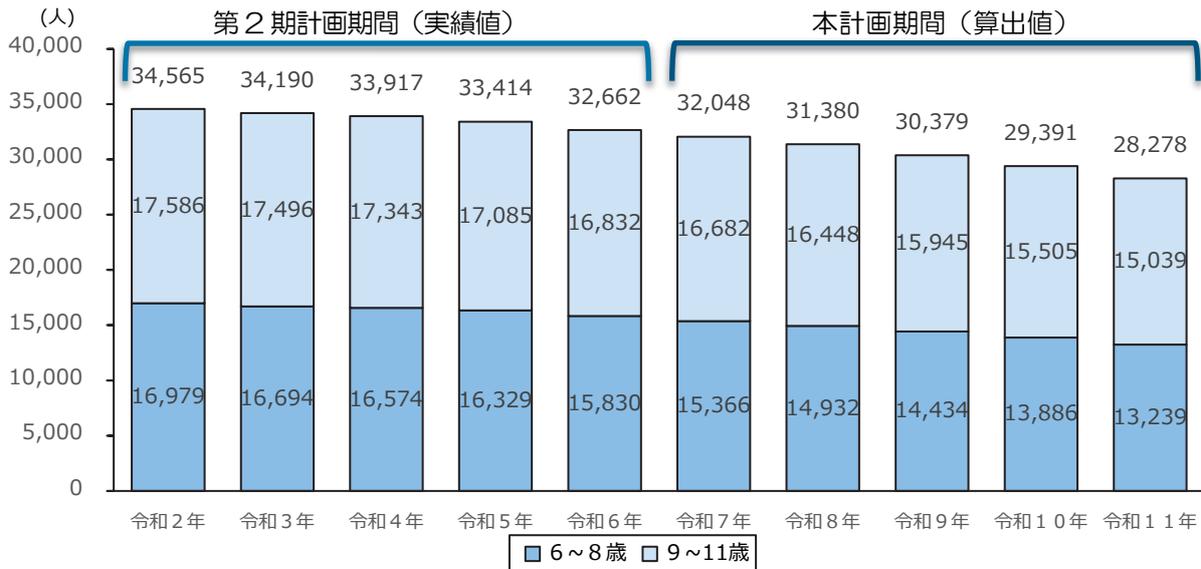
第2期計画期間（実績値）

図表 就学前児童（0～5歳）人口と就学児童（6～11歳）人口の実績値と算出値【船橋市】

就学前児童（0～5歳人口）



就学児童（6～11歳人口）

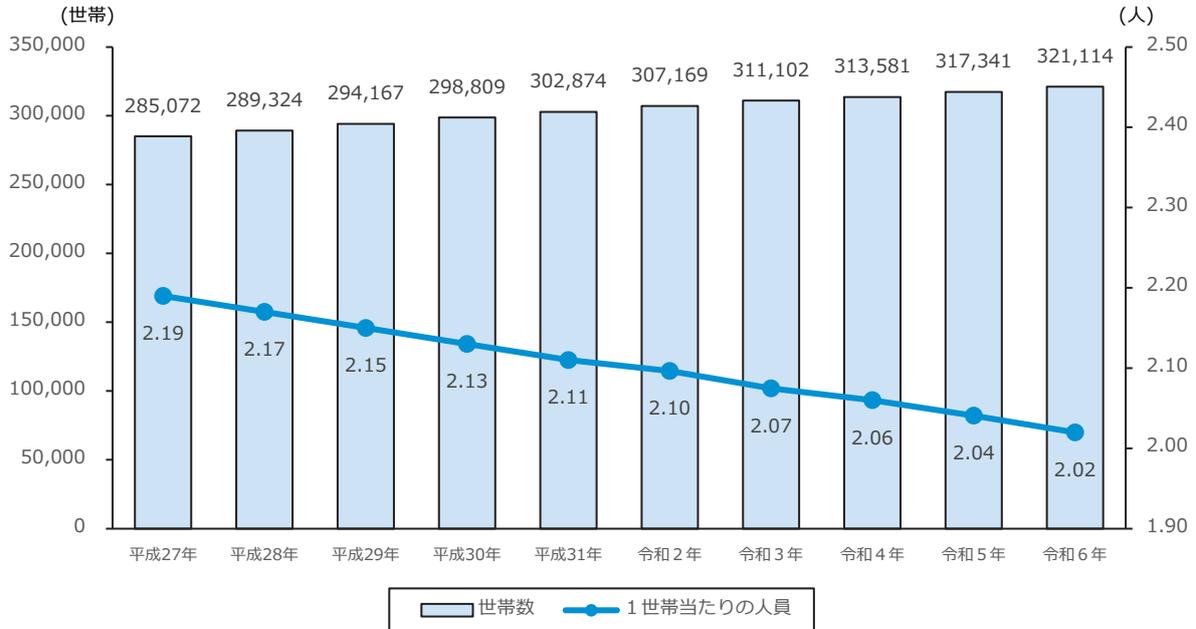


資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

③ 世帯数の推移

本市の世帯数は増加傾向で推移しており、令和6年（2024年）4月1日現在321,114世帯となっています。また、1世帯当たりの人員は減少傾向にあり、令和6年（2024年）4月1日現在2.02人となっています。

図表 世帯数及び1世帯当たり人員の推移【船橋市】

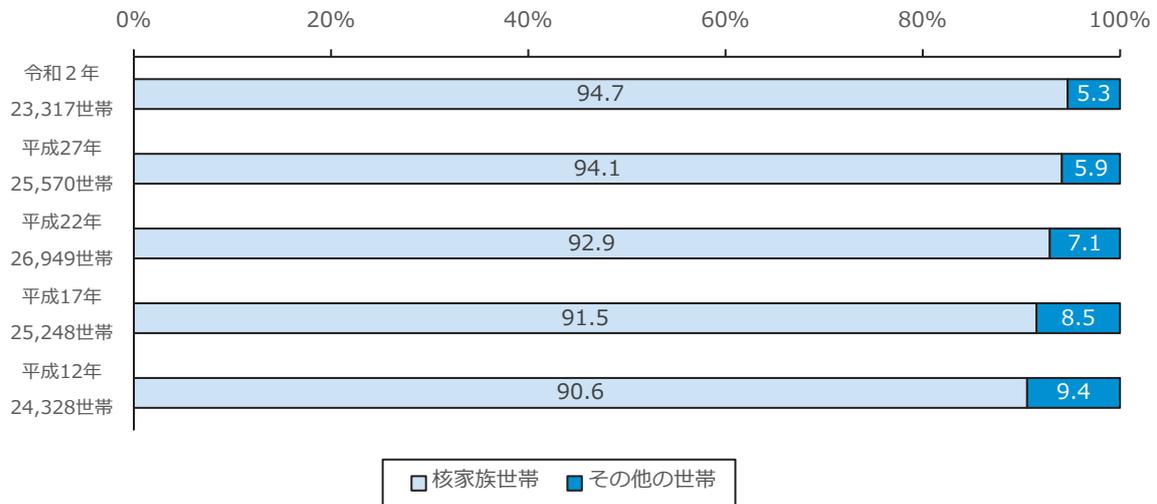


資料：住民基本台帳（各年4月1日現在）

④ こどものいる世帯構成の推移

核家族の割合は増加傾向にあります。令和2年（2020年）国勢調査では6歳未満のこどものいる世帯の94.7%が核家族世帯となっています。

図表 6歳未満のこどものいる世帯の世帯構成推移【船橋市】



資料：国勢調査

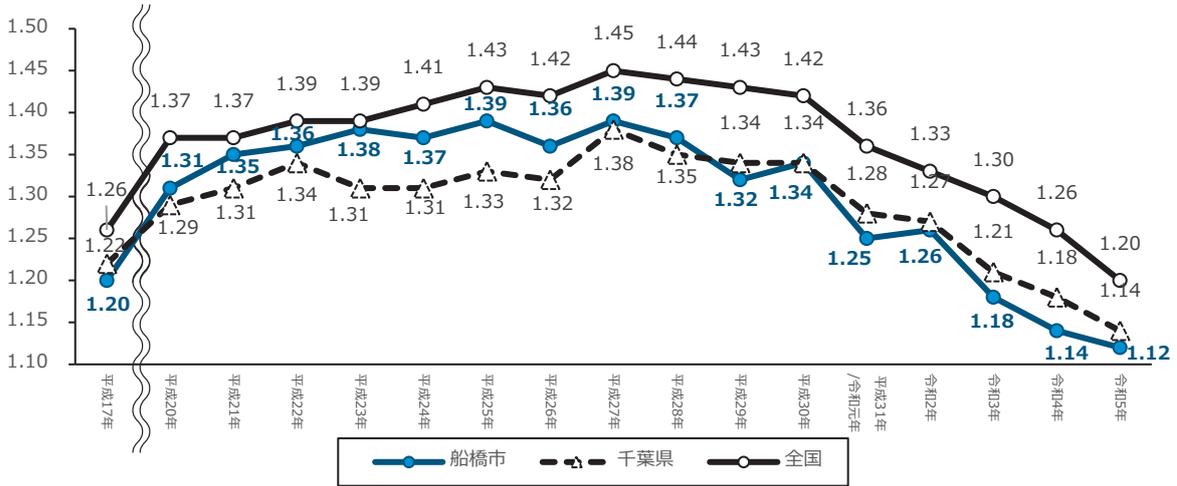
1. 船橋市の現状

(2) 出生の状況

① 合計特殊出生率の推移

本市の合計特殊出生率※は、全国的にも過去最低であった平成17年（2005年）の1.20から回復し、平成27年（2015年）には1.39まで上昇しましたが、令和5年（2023年）は1.12に低下しており、千葉県及び全国を下回っています。

図表 合計特殊出生率の推移【船橋市・千葉県・全国】



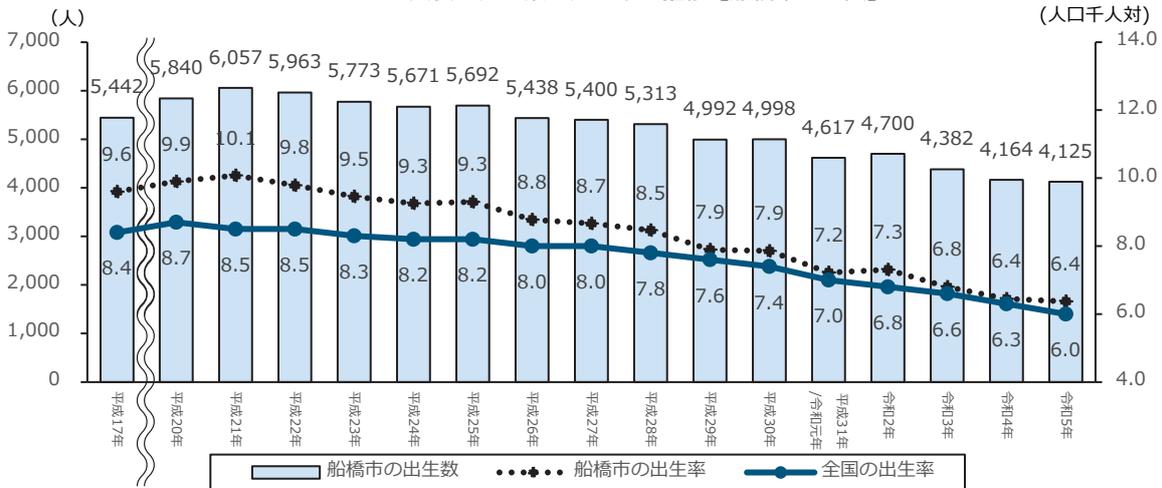
資料：千葉県 合計特殊出生率の推移市町村別

※合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女性の年齢別出生率を合計したものであり、一人の女性が一生に産む子どもの数に相当する。

② 出生数・出生率※の推移

本市の出生数は減少傾向にあり、令和5年（2023年）は4,125人となっています。また、出生率は人口1,000人あたり6.4で、全国の出生率より高くなっています。

図表 出生数・出生率の推移【船橋市・全国】



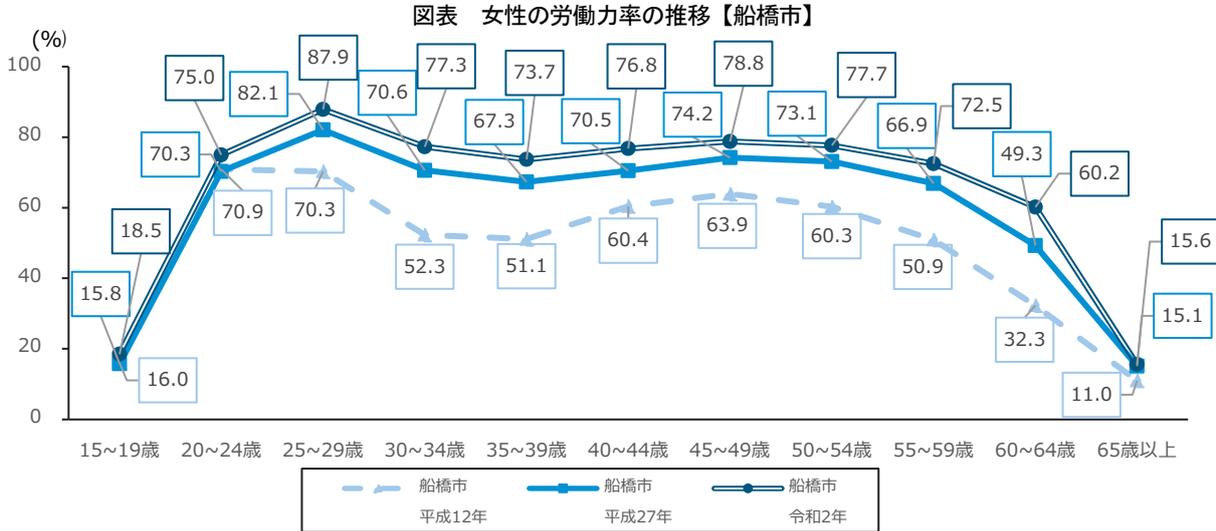
資料：船橋市統計書（船橋市）

令和5年（2023年）厚生労働省 人口動態統計の年間推計（全国）

※出生率とは、人口1,000人あたりの、1年間の出生児数の割合をいう。

(3) 女性の就労の状況

本市の女性の労働力率*は、25歳以上のいずれの年齢階級も上昇しています。出産・子育て年齢である30歳代で一旦低下し、育児が落ち着いた時期に再び上昇する、いわゆる「M字カーブ」は、カーブが緩やかになってきています。

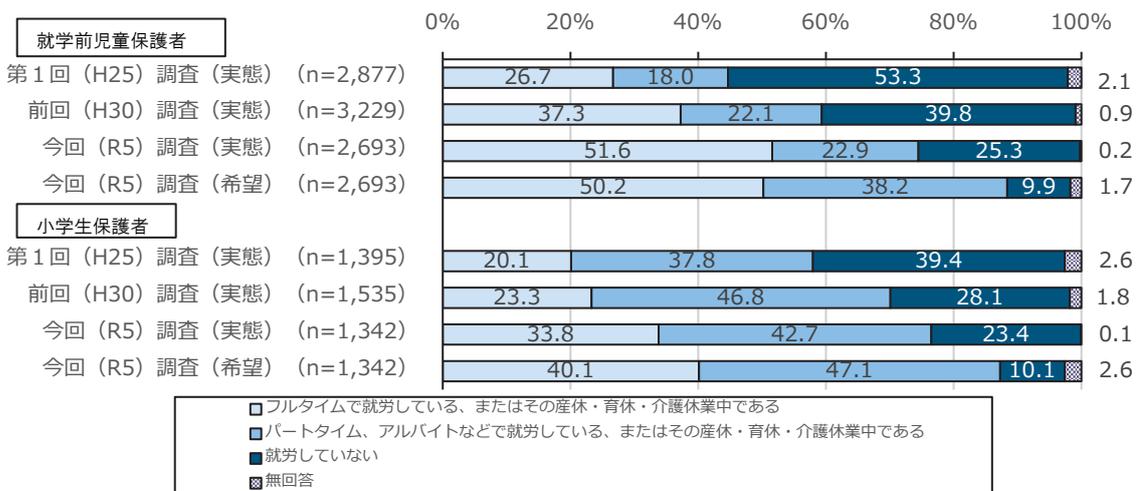


資料：国勢調査

*労働力率とは、15歳以上人口に占める労働力人口（休業者を含む就業者と完全失業者の合計）の割合。これに対し、非労働力人口は、家事・通学・その他（高齢者など）となる。

就学前児童や小学生を持つ母親の就労状況については、平成25年度（2013年度）、平成30年度（2018年度）と令和5年度（2023年度）に実施したアンケート調査を比較すると、就労している割合が増加しており、今後の就労を希望する割合は、フルタイム、パートタイム、アルバイトなどの合計を見ると、実態よりもさらに高くなっています。

図表 母親の就労（希望）状況（経年比較）



資料：平成25年度・平成30年度・令和5年度 船橋市子ども・子育て支援に関するアンケート調査

2. 地区コミュニティと行政ブロック

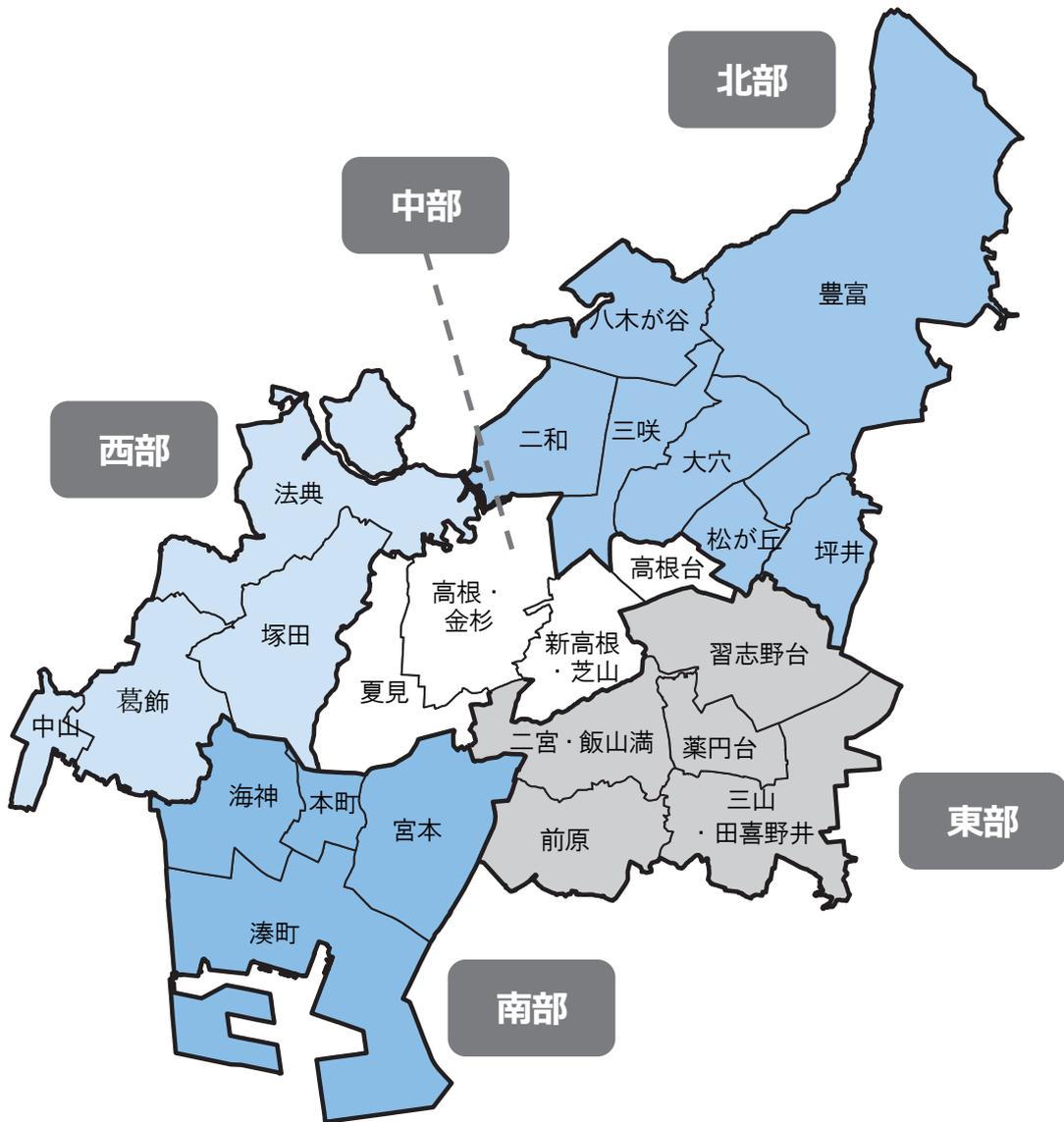
本市においては、地域的な視点にたつて行政を行うとともに、地域ぐるみのさまざまな活動を促進するために24の地区コミュニティを設定しています。また、地区コミュニティを束ねる概念として5つの行政ブロックを設定しています。

■ 24 地区コミュニティ別町丁目

行政ブロック	地区コミュニティ	町丁目
南部	湊町	本町3丁目、若松1～3丁目、浜町1～3丁目、湊町1～3丁目、日の出1～2丁目、西浦1～3丁目、栄町1～2丁目、潮見町、高瀬町
	宮本	宮本1～9丁目、市場1～5丁目、駿河台1～2丁目、東船橋1～7丁目、東町
	本町	本町1～2丁目・4～7丁目
	海神	海神1～6丁目、海神町2～3丁目、海神町西1丁目、海神町東1丁目、海神町南1丁目、南海神1～2丁目、南本町
西部	葛飾	印内1～3丁目、印内町、葛飾町2丁目、古作1～4丁目、古作町、山野町、西船1～7丁目、東中山1～2丁目、本郷町
	中山	二子町、本中山1～7丁目
	塚田	旭町1～6丁目、旭町（住居表示外）、行田1～3丁目、行田町、山手1～3丁目、前貝塚町、北本町1～2丁目
	法典	丸山1～5丁目、上山町1～3丁目、藤原1～8丁目、馬込町、馬込西1～3丁目
中部	夏見	夏見1～7丁目、夏見台1～6丁目、米ヶ崎町、夏見町2丁目
	高根・金杉	金杉1～9丁目、金杉台1～2丁目、金杉町、高根町、緑台1～2丁目
	高根台	高根台1～6丁目
	新高根・芝山	芝山1～7丁目、新高根1～6丁目、高根台7丁目
東部	前原	前原西1～8丁目、前原東1～6丁目、中野木1～2丁目
	三山・田喜野井	三山1～9丁目、習志野1～5丁目、田喜野井1～7丁目
	二宮・飯山満	滝台1～2丁目、滝台町、二宮1～2丁目、飯山満町1～3丁目
	薬円台	七林町、薬円台1～6丁目、薬園台町1丁目
	習志野台	習志野台1～8丁目、習志野台4丁目（住居表示外）、西習志野1～4丁目
北部	二和	二和西1～6丁目、二和東1～6丁目
	三咲	三咲1～9丁目、三咲町、南三咲1～4丁目
	八木が谷	みやぎ台1～4丁目、高野台1～5丁目、咲が丘1～4丁目、八木が谷1～5丁目、八木が谷町
	松が丘	松が丘1～5丁目
	大穴	大穴町、大穴南1～5丁目、大穴北1～8丁目
	豊富	金堀町、古和釜町、車方町、小室町、小野田町、神保町、大神保町、楠が山町、豊富町、鈴身町
	坪井	坪井西1～2丁目、坪井町、坪井東1～6丁目



■ 24 地区コミュニティと5行政ブロック



第1章

第2章

第3章

第4章

第5章

第6章

資料編

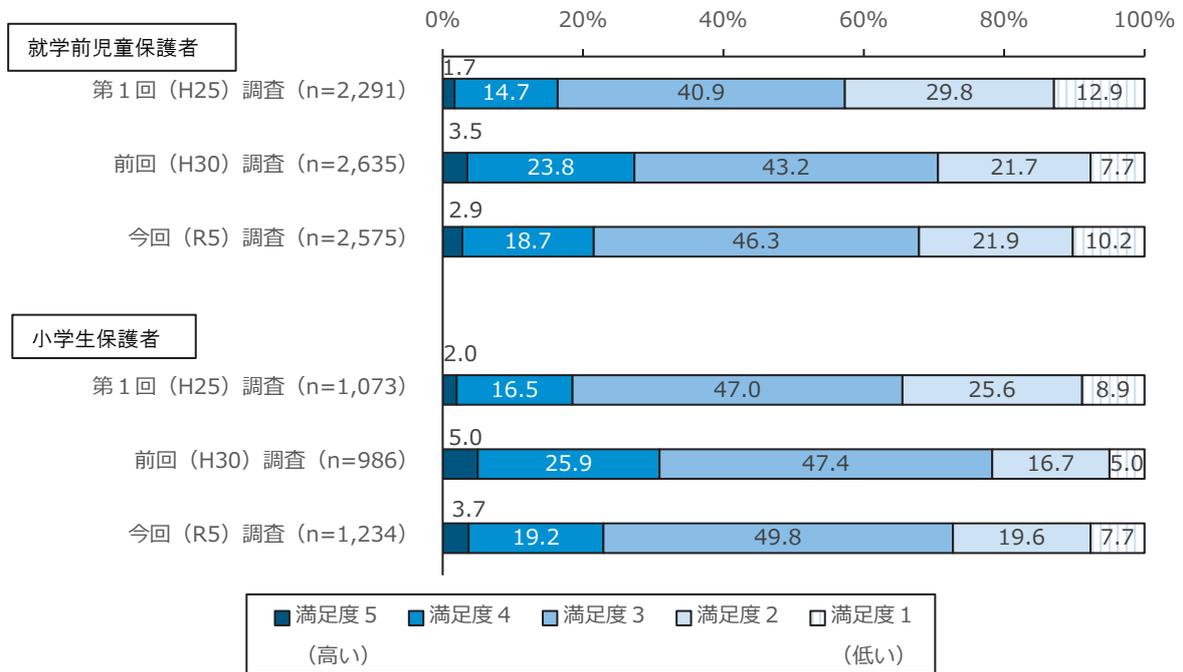
第2章 こども・子育てを取り巻く状況

3. 市民の満足度

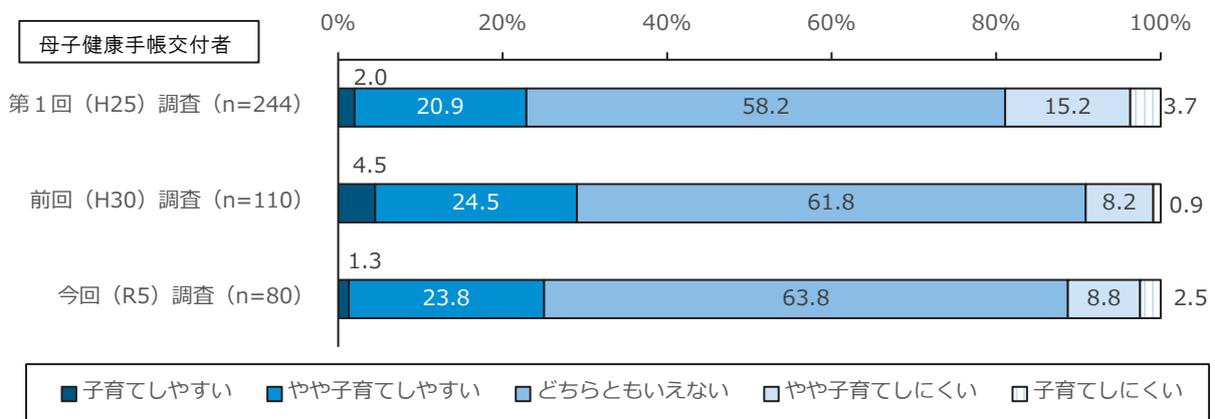
3. 市民の満足度

本市の子育て環境や支援施策に関する満足度について、平成25年度（2013年度）調査及び平成30年度（2018年度）調査と令和5年度（2023年度）調査を比較すると、最新の調査では、就学前児童保護者、小学生保護者、母子健康手帳交付者のいずれも、「満足度4」「満足度5」（高い）又は「やや子育てしやすい」「子育てしやすい」を合わせた満足度は、前々回調査より高いものの、前回調査より低くなっています。

図表 子育て環境や支援への満足度（経年比較、無回答除く）



図表 子育てしやすいまちだと思うか（経年比較、無回答除く）



資料：平成25年度・平成30年度・令和5年度 船橋市子ども・子育て支援に関するアンケート調査